

**暴走
安倍
政権**

稲田防衛相、自民応援を「自衛隊としてお願い」と発言

政治的中立侵す 批判浴び発言撤回

稲田朋美防衛相は27日、東京都板橋区内で開かれた自民党の応援演説で、「防衛省、自衛隊、防衛大臣、自民党としてもお願いしたい」と発言しました。

自衛隊法は、防衛省職員、自衛隊員の政治的行為を制限し、政令で地方公共団体の議会議員選挙で特定の候補者を支持することを禁じています。稲田氏の発言は、防衛省と自衛隊も組織を挙げて選挙に協力すると表明したと受け取られるものです。

稲田氏はこの後、記者団に「防衛省、自衛隊の活動に当たり、地元に対する感謝の気持ちを伝える一環でそういう言葉を使った」と弁明。同日夜、記者団に対し、発言を撤回する考えを示しましたが、「これからも職務を全うしたい」と述べ、大臣辞任は否定しました。



暴言・失言を繰り返す稲田防衛大臣
=27日

稲田氏は即刻辞職を 小池書記局長がコメント

日本共産党の小池晃書記局長は「もっとも中立的でなければならぬ自衛隊という実力組織を選挙のために利用することは言語道断。稲田氏は即刻辞職すべきだ」と述べました。

日本共産党

安倍 国政私物化 政権支える自民・公明に審判を!! 「今度ばかりは共産党」

安倍首相は24日の講演で、「臨時国会で自民党の改憲案を提出する」と表明しました。しかし、いま首相がなすべきは、野党の憲法53条にもとづく臨時国会召集の要求に応じて、憲法をきちんと守って臨時国会を召集し、国政私物化の疑惑について国民に『真摯（しんし）に説明』することです。

こんどの選択では、都政とともに、『森友』『加計』疑惑だけでなく、ついには憲法をも私物化し、自分の野望のために勝手に変えようとする自民・公明政権への審判も問われます。「憲法まもり国会をただちに開け」「9条改憲は許さない」「今度ばかりは共産党」という審判を、あなたの意思で示してください。

政治を変えたい

あなたの思い 日本共産党の女性現職へ

**東京
民報**

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2017年6月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

検索 JCP TOKYO